



体協だより

健康

癒し

リフレッシュ

vol.19

ひたちなか市体育協会

平成31年3月31日発行

Let's SPORT!

ひたちなか

発行・編集／ひたちなか市体育協会 広報紙編集委員会（ひたちなか市市民生活部 スポーツ振興課内）
〒312-8501 ひたちなか市東石川2丁目10番1号 ひたちなか市役所 第1分庁舎1階
TEL.029-219-7373（直通）／029-273-0111（内線2113）

<http://www.hitachinaka-taikyo.jp/> ひたちなか市体育協会



スターター合からランナーを見送る
大谷市長と洪井選手

第67回勝田全国マラソンは1月27日（日）、全国各地から17209人のランナーを迎えて盛大に開催されました。フルマラソンの部が始まる午前10時30分、スターターを務めたのは今回が初の大役となる大谷明ひたちなか市長です。号砲とともに一斉に走り出すランナー。台上には北京五輪日本代表で女子1万メートルの日本記録保持者でもある洪井陽子選手も姿を現し、お二人で「いつてらっしゃい」と手を振ってランナーを送り出しました。洪井選手は今大会10キロの部のゲストランナーであり、前日祭のトークショーなどでも大会を盛り上げてくれました

第67回勝田全国マラソン ランナー、ボランティア それぞれの大切な一日



1キロ付近

コース上には大勢のボランティアの皆さんが安全確保などに努めています。1キロ付近を担当するのは岩渕桂子さんと齊藤典子さん。「ランナーも応援の方も、本当に全国のいろんな所からいらしているのです、お話ししてふれ合うのも楽しみの一つ。感謝されて、気持ちよく帰っていただけると嬉しんです」と岩渕さん。ちなみに「勝田のボランティアは、親切で対応がいい」と評判だそうです。齊藤さんは今年のウィンドブレーカーについて「よく目立つきれいな色で、スタップとして心強く感じます。3年に1度新調されるので、



18キロ付近、東海村合同庁舎前

もういろんな色のが貯まりました。古いのも散歩のときなどに着て重宝していますよ」とコメント。18キロ付近の東海村合同庁舎前には、細金馨さんと及川惣二さん。「交通誘導で気に懸けているのは、車で抜けようとする人がいることでも、ていねいに説明すれば分かっていただけなので、大きなトラブルはありません」と細金さん。お二人ともボランティアは10年以上。さまざまなポイントを経験してきました。及川さんは「これに参加するのが楽しみという年に一度のお祭り。一番寒い時期の開催ですが、寒さなんて感じません」と意気軒昂な様子でした。

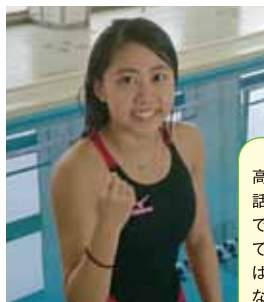
Pick up!

2018年度

スポーツで躍動したひたちなかの若人たち!!

今年度も様々な競技のスポーツ大会が行われ、本市に住所を有する、または在学する数多くの選手が大活躍しました。その中でも関東・全国へ羽ばたき、輝かしい活躍をした若人たちをご紹介します。

PART6



今後の目標

高校最後の夏、今までお世話になった方々に恩返しができるように精一杯努力していきます。そして、今年より昨年よりも飛躍した年になるように頑張ります。

矢野 佑歩選手

種目 水泳(競泳)
 学校名 常磐大学高等学校(2年)
 出身中学 大島中学校
 出場大会 第86回日本高等学校選手権水泳競技大会
 4×100mフリーリレー/4×200mフリーリレー
 出場
 第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
 4×100mメドレーリレー
 出場



今後の目標

昨年の関東大会は悔いの残る結果となってしまいました。今年の関東大会でベストタイムを更新して、支えてくれたたくさんの方々に恩返しできるように練習に励みます。

根本 亨翼選手

種目 水泳(競泳)
 学校名 勝田高等学校(2年)
 出身中学 佐野中学校
 出場大会 第69回関東高等学校選手権水泳競技大会
 及び成績 100mバタフライ
 出場



今後の目標

今の自分の結果に満足せず、0.1秒でも速く走れるように、これからの練習を頑張る3年生の大会では悔いのないようにしたいです。

小泉 颯馬選手

種目 陸上競技(100m)
 学校名 佐野中学校(2年)
 出場大会 第46回関東中学校陸上競技大会
 及び成績 2年男子100m
 出場
 茨城県中学校新人大会
 2年男子100m 2位
 4×100mリレー 2位



今後の目標

来年の県大会では1位をとり、関東大会や全国大会で入賞したいです。そのために、日々の練習を大切にしていきたいです。

南百瀬 葵選手

種目 陸上競技(100m)
 学校名 佐野中学校(1年)
 出場大会 第46回関東中学校陸上競技大会
 及び成績 1年男子100m 出場
 第64回全日本中学校通信陸上競技大会茨城大会
 1年男子100m 2位
 茨城県中学校新人大会
 1年男子100m 2位
 4×100mリレー 2位
 第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会
 100m 出場
 4×100mリレー 出場



今後の目標

高校では、中学の時と比べ練習がきつくなると思いますが、そのような練習に耐え、全国大会に出場できるような選手になりたいです。

竹内 洸貴選手

種目 陸上競技(110mハードル)
 学校名 勝田第二中学校(3年)
 出場大会 第46回関東中学校陸上競技大会
 及び成績 共通男子110mハードル
 出場



今後の目標

高校では、今まで支えて下さった沢山の方々への感謝を忘れず、結果で恩返しができるような強い選手になりたいです。そのために日々努力していきたいです。

大谷 亜理沙選手

種目 陸上競技(四種競技)
 学校名 勝田第二中学校(3年)
 出場大会 第46回関東中学校陸上競技大会
 及び成績 共通女子四種競技
 出場

オリンピックピックデーラン ひたちなか大会



11月25日(日)、清々しい快晴の下、市総合運動公園で「2018オリンピックピックデーランひたちなか大会」が開催されました。天候にも恵まれたこの日、8名のオリンピックとともに延べ3436人の参加者はジョギングやウォーキングをメインに実施体験や体力測定などで汗を流し充実した1日を過ごしました。

オリンピックアンティークショーでは、オリンピックが使用した用具やユニフォーム、獲得したメダルを紹介したり、新体操の田中琴乃さんがリボンやボールなどを使ったパフォーマンスを披露して会場は大いに盛り上がりました。



午後は、オリンピックから直接指導を受けられるバレーボール・サッカー・陸上・新体操教室を実施しました。

各教室では、オリンピックがお手本となる実技披露があり、参加者はオリンピックの技や技術を習得するため真剣な眼差しで見つめていました。

この教室で諦めず頑張る、何事にも挑戦することの大切さを学んだ子供たちが今後活躍されることを願っています。



平成最後のタスキリレー

第73回三浜駅伝競走大会

12月2日(日)、駅伝シーズンの到来を告げる「三浜駅伝」が、雄大な太平洋を望むひたちなか市と大洗町を舞台に開催され、7部門、174チームが大会会長でもある大谷明新市長の号砲のもと、熱いレースを繰り広げました。戦後間もない昭和22年に第1回が開催されてから、今回で73回を迎えた伝統と歴史ある大会であり、また、平成最後の大会でもありました。

また、今回も本市と姉妹都市を締結している石巻市と那須塩原市のチーム(石巻RC・那須塩原市陸上競技会)も参加し、大会を盛り上げました。

各中継所では、ひたちなか・東海広域事務組合の救急救命士がボランティアとして従事していました。

大会結果は、中学の部では男女共に峰山中が優勝、高校男子の部では水戸工高Bが優勝、高校女子の部では水戸一高が優勝、一般二部では、中央学院大AC一部、一般女子の部では、茨城大学、一般一部の部では茨城大学Aが優勝し、総合優勝にも輝きました。

いよいよ今年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」「いきいき茨城ゆめ大会」のマスケットの「い

ばラッキー」が、ゴールする選手の皆さんを温かく迎えてくれました。本市では、陸上競技・水泳・サッカー・バレーボールの4種目が、また、大洗町では、ゴルフ・ビーチバレーボールの2種目が開催されます。日本全国から選手や役員、競技関係者など、多くの方々が本県を訪れます。「おもてなし」の心でお迎えしたいものです。

平成最後となった今大会も、盛會裏に幕を閉じました。今年も、新しい年号のもとでの大会となります。新しい時代とともに、この「三浜駅伝」がますます愛される大会になると思います。

(助川記)



専門部だより

二一八才!! 太極拳、ご一緒しませんか

太極拳連盟会長 佐藤 敬子

近年太極拳は、年齢・性別を問わず、心身のバランス運動・転倒予防の健康体操として雑誌やテレビ等で紹介される事もあり、関心を持たれる方も増えているように思います。

私たちが行なっている「楊名時八段錦・太極拳」は、呼吸にあわせてゆったりと動く運動で、健康太極拳と言われています。日々の練習では、調心・調息・調身をめざし、あせらず・いばらず・おこたらず・おごらず・くさらず・いとおおくの精神で楽しく長く続ける事を大切にしています。また、



個々の健康だけでなく、仲間の健康と共に集う者たちとの和を輪を広げていく気持ちも育むよう心がけています。

当連盟は、市内コミセン等で活動している六団体が構成している会です。個別には、毎月の稽古(24の型の反復練習)や芸能発表会での演舞、全体では、太極拳の周知活動として行なっている「太極拳のつどい」の開催です。

連盟としての活動は、平成の歩みと共にあり、今秋予定している「太極拳のつどい」は、三十回を数える事になります。是非多くの市民の皆様にご参加いただき、太極拳を体験・体感していただければ幸いです。謝辞。

「敵は自分自身・心を磨く生涯武道」

弓道連盟会長 熊谷 博明

ひたちなか市弓道連盟は、勝田支部・殿山支部・湊支部の会員63名で構成されております。

弓道は心・技・体が一体となり調和と完成を求め「真・善・美」を追求する武道です。

的に当たれば良し、とせず「正しい射、誠の心、厳しい自己統制」を通し人間完成を目指す自己修練が目的であります。

昨年は高位昇段者として6段1名、称号「錬士」に3名が合格するなど目覚ましい活躍が見られました。その中の錬士昇格者には83



近郊親善射会

よく狙ってカッオをが外

歳という高齢にもかかわらず、見事「合格」になった方もおられます。(実技の他、学科・面接試験も)この様に年齢・男女に関係なく長く続けられる武道と言えます。

各支部とも日夜、道場で修練しておりますが、一堂に会して春には「春季大会」、秋には「市長杯」を開催しており、また、湊支部では「近郊親善射会」(通称カッオ祭り)を開催しております。これは余興でカッオ絵的的で競技するもので、本物のカッオが賞品となる為、各地の支部より大変な好評を得ております。(約170名参加)

今年も国体が我が茨城で開催されます。弓道は県武道館の弓道場で開催され、当連盟からも多数の会員が競技役員として大会運営に当ります。

また、県武道館、当市の総合体育館弓道場でも中高生および一般の審査会が開催される予定ですので(茨城県弓道連盟のホームページ参照)興味のある方はどうぞ会場にて見学頂きたいと思っております。

その他各支部でもそれぞれ弓道教室を開校する予定です。その時は市報にてお知らせ致しますので、こちらも興味のある方、体験してみたい方はお気軽に連絡お待ちしております。

いろいろな場面で
スポーツを楽しんでいる方々に
スポットライトをあててみました!

スポーツ ライト



石巻武道交流大会

昭道館池内道場 池内 貴憲

平成30年10月6日・7日姉妹都市になつている石巻市において、第一回石巻市・ひたちなか市武道交流大会が開催されました。様々な武道が行われるなか、私たち市柔道チームは、市内で活躍している小・中学生を選抜し大会に参加しました。

選手たちは、バスの長距離移動、初めて訪れる土地での試合にもかかわらず、しっかりとウォーミングアップを行い試合に臨むことができました。石巻選抜も好選手を揃え、白熱した試合が続く中、ひたちなか市チームは見事に9対0で勝利することができました。試合後は、石巻の選手と仲良く打ち解け、素晴らしい交流大会となりました。

今回このような機会を与えて頂いた、ひたちなか市・石巻市の関係の方々には深く感謝いたします。子供たちもこの経験を今後の柔道人生に活かせれば幸いです。今回参加した選手をご紹介します。

- 監督 池内貴憲(昭道館池内道場) 選手
- 小学女子 横須賀 椿 (那珂湊三小 6年)
 - 清水 優陸 (那珂湊一小 6年)
 - 小学男子 池内 雷基 (那珂湊一小 5年)
 - 磯前 煌 (那珂湊二小 6年)
 - 大林 健人 (那珂湊三小 6年)
 - 中学女子 野上 言佳 (那珂湊中 2年)
 - 横須賀 桜 (那珂湊中 2年)
 - 中学男子 竹内 望 (那珂湊中 1年)
 - 大林 直樹 (那珂湊中 2年)
 - 山田 一誓 (那珂湊中 3年)

こたき みお

小滝水音プロの紹介

ゴルフ連盟会長 七字 邦夫

2017年LPGAツアーのプロテストに合格した小滝水音プロ(静ヒルズカントリークラブ所属)は、昨年のプロ2年目20試合に出場し、初戦の宮里藍サントリールデイスオープンでは2日目に一時首位になる鮮烈なデビューで、最終的に16位タイでしたが全国に小滝水音の名を印象づけました。ツアーの後半戦でも目覚ましい活躍をされ10月の三菱電機レディースで3位タイ、11月の伊藤園レディースで4位タイと好成績を残しました。

小滝プロは小学生(7歳)の時からゴルフを始め、明秀学園日立高等学校のゴルフ部で腕を磨き、2017年7月28日プロテストに合格。得意なクラブはパターで両足を大きく開き前傾するアドレス

はNHK-BSS SPORTS INNOVATIONの番組で紹介、解説者の森口祐子プロに絶賛されました。そのパッティングスタイルは、ゴルフを始めたころからで、きっかけは横峯さくらプロがドライバーを打つ時のワイドスタンスからヒントを得たとのこと。

ひたちなか市では小滝プロ後援会を(会長・鈴木誉志男氏、会員数70名)商工会議所や勝田ライオ



ンズクラブの役員及び知人・友人により設立しました。昨年12月18日に第一回みおちゃんデーが開催され、挨拶の席上「今年のレギュラーツアーは20試合に出場し賞金ランキング66位となりました。来期出場権をかけたクオリファイトーナメントは外国勢や新人も多数参加し、非常にレベルの高い過酷な戦いでした。お蔭様で最終成績を9位とし、来年前半戦の出場権を獲得することができました。今シーズンは皆様から非常に沢山の応援を頂きまして誠に有難うございました。来年はシード権獲得を目指してベストを尽くして参ります。」と挨拶がありました。今シーズンは3月7日から開催されるシーズンの開幕戦である第32回ダイキンオーキッドレディスに出場する予定で、テレビ中継でそのプレーがお茶の間に届くことでしょう。皆で小滝水音プロの活躍を応援しましょう。

スポ少だより

都道府県対抗戦に 2年連続代表選手を輩出

ダンススポーツ少年団 長米田健治

発足から早や16年、延べ200名以上の会員が当少年団入会をきっかけにダンススポーツを始め、プロ転向(2名)や日本代表選手(2名)として活躍しています。

しかし、当初の9年間は活動日が週1回で、6月から8月は子供会優先の会員もあり、練習の足並みが揃わない状況でした。更にラテン3種類の団体戦への出場を目標としていましたので、ラテン種目しか練習できませんでした。

そこで、JDSF本部主催のジュニア指導講習会・仙台市北中学でのダンス授業・ダンスうんどう塾合宿等への参加を9年続け、ジュニア育成の情報収集に努めました。

そして7年前より第2弾として、週2回以上を定期活動日として設定し、スポーツ少年団活動(週2〜3回推奨)とアスリート育成(週4回以上)とを選択して練習参加する運営スタイルに変更しま



した。また、クラシックバレエの外部講師を定期的に招聘しダンスの基礎技術習得の強化を図りました。

新活動の成果として、茨城県ダンススポーツ連盟より2017年度は椎名温俊・美咲兄妹組(当時小6)が愛媛県へ、2018年度は橋本琉正(当期中1)・野崎市花(当時小5)組が福井県へそれぞれ県代表選手として派遣され、両年度ともに総合成績6位を得る活躍の一翼を担うことができました。

現在は中学での全員部活の方針で吹奏楽をやっている椎名組ですが、3歳で入会、小2からは練習回数を増やし、難易度の高いステップに挑戦し、小5と小6では三笠宮杯11歳以下の部

で2年連続決勝進出を果たしました。現在も人材育成と全国大会で活躍できる選手育成を活動目標の両輪に据えて活動しております。土曜午後にはワークプラザ勝田で練習しています。お気軽に見学に来てください。

スポーツチャンバラの活動について

スポーツチャンバラスポーツ少年団

団長 畔野 織江

スポーツチャンバラスポーツ少年団は、毎月第2第4火曜日の18時〜ひたちなか市金上ふれあいセンターで活動しています。

現在、年長〜高校生まで男女約20名が所属しています。

スポーツチャンバラは、50年程前に、日本のチャンバラごっこ小太刀護身術をもとにして考案されたスポーツで、エアソフト剣という武器とアクリル製の面という防具を使用しておこないます。現在は世界大会も開かれる国際的なスポーツです。エアソフト剣は、短刀・小太刀・長剣・杖・棒・槍の種類があり、少年団では小太刀と長剣を中心に練習しています。

原則的なルールは「相手のどこを叩いても良いが相手に叩かれてはいけない」です。その他細かいルールはありますが、初めて取り組む人にとつてもわか



りやすいスポーツです。しかし、チャンバラと聞くと、遊びの延長のように聞こえるかも知れませんが、少年団の活動は「人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う」という武道の精神に即し、活動は礼に始まり礼に終わることを重んじています。

基本練習では子ども達の元気な掛け声が響き、試合形式の練習では、緊張の中、剣を振る音や選手の息づかい、真剣な表情を見ることが出来ます。

活動は練習以外にも、合宿・大会・級段試験・歓迎会やクリスマス会のレクリエーションがあります。レクリエーションでは、指導者・団員・保護者のみんなで楽しみます。そのメリハリが日々の練習を頑張る原動力となります。皆さんもぜひ、スポーツチャンバラ少年団に入りませんか？

翔べ羽ばたけ そして未来へ 45年ぶりの開催へ

その5

茨城国体
いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会
ひたちなか市実行委員会事務局 川又 理世

平素より、いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会において格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、各競技団体のご協力を受け、本大会を見据えたりハースル大会を開催することができました。会場を担当する市職員等 427名、ボランティア延べ198名を動員し、運営マニュアルをもとに各々の役割を確認しな



ドリンクコーナーの様子



手作り応援のぼり旗や花プランターの様子

がら本大会に向けた課題を見つけました。これらの課題を改善し、成功に向けて万全の体制で取り組みます。

今年開催の茨城国体では、各競技会場に市内の小・中学校・特別支援学校の児童・生徒が制作した『手作り応援のぼり旗』、各団体が大切に育てた『花プランター』や『特産品のふるまい』などで、全国から訪れる選手や関係者、観客の皆さまを心温まるおもてなしでお迎えます。

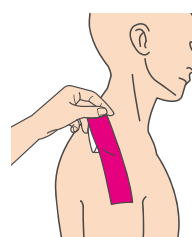
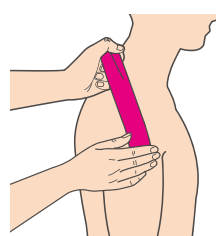
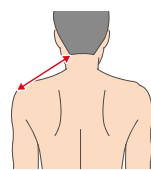
45年ぶりに開催される茨城国体、ぜひ会場に足を運んでいただき、練り広げられる選手たちの熱い戦いに市民の皆様温かい声援で、一緒に茨城国体を盛り上げましょう。

Vol.7

自宅で簡単！ 肩こりに効果的なテーピング

スポーツトレーナーアトバイス

いよいよ4月、新年度のはじまりですね。季節の変わり目で、寒暖差が大きいこの時期は、体の不調を感じやすい時期でもあります。また、新生活が始まり、新しい環境で知らず知らずのうちに緊張とストレスで、筋肉が硬直し、肩こりに悩まされる方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、自宅で簡単にできる肩こりに効果的なテーピングをご紹介します。



- ① 幅5cmのテーピングテープを用意します。約25cmの長さにカットして下さい。
(長さは個人差があります。髪の毛の生え際から肩峰までの長さが目安です)

- ② 座った状態で、テーピングテープの先を肩峰の前下方に貼ります。

- ③ 首を反対方向に傾けます。肩を少し押し下げながら皮膚を下に軽く引き、首の髪の毛の生え際に向かって、テーピングテープを貼ります。

貼り方のポイント

- ① 首を傾げ、肩の筋肉、皮膚を十分に伸ばして貼ります。
- ② 体を元に戻した時に、テープにシワができるのが良い貼り方です。テープに伸縮性があると、つい引っ張りたくなくなります。そのまま貼ります。
- ③ 貼り終わり、体を動かした後、テープが浮いたり、はがれたりしないか確認しましょう。

※伸縮性のあるテープ(キネシオテックパターン)のご使用を推奨します。

監修



スポーツケアトレーナー
内島 秀明

ひたちなか市市毛 513-5
コンディショニングルーム 秀 代表

平成30年度体育協会振興大会報告

本年度のひたちなか市体育協会振興大会が、平成31年1月20日(日)にホテルクリスタルパレスにて各団体から502名が出席し、開催されました。綱川正会長代行挨拶、来賓祝辞といたしまして大谷明市長、郡司彰参議院議員、清水立雄市議会議長、磯崎達也茨城県議会議員より挨拶をいただきました。

その後、本年度の功労者表彰を執り行いました。功労者は、加盟団团长推薦(専門部21名、地域体育部会9名、スポーツ少年団8名)及び会長推薦(個人



13名、2団体)の51名、2団体の皆様でした。受賞者全員をご紹介の後、受賞者を代表してインディアアカ連盟の天野暢子様より謝辞をいただきました。

その後は阿中学区明るく住みよい地域をつくる会 小池勝利会長に乾杯の音頭をとっていただき、「みなと源太&ココナッツ石井」のお二人による演奏でレセプションが開幕いたしました。

とても賑やかな雰囲気の中で、最後は一中地区地域のふれあいを広める会 坂井久彦会長による万歳三唱で閉会となりました。なお、本年度の表彰者は次のとおりです。

◇加盟団团长推薦

〈本会のスポーツ振興発展に貢献し功績が顕著だった者。(5年以上の実績)〉

- 野球連盟
- バレーボール協会
- サッカー協会
- ハンドボール協会
- 卓球連盟
- ソフトテニス連盟
- 陸上競技協会
- 空手道連盟
- ひたちなか地区剣道連盟

- 弓道連盟
- スキー連盟
- テニス連盟
- バドミントン協会
- ダンススポーツ連盟
- インディアアカ連盟
- ゲートボール連盟
- 太極拳連盟
- グラウンド・ゴルフ協会
- 一中地区体育部会
- 二中地区体育部会
- 前渡体育部会
- 佐野体育部会
- 大島地区体育部会
- 田彦中学区体育部会
- 湊中学区体育部会
- 平中学区体育部会
- 阿中学区体育部会
- サッカー部会
- ソフトボール部会
- 剣道部会
- バレーボール部会
- 卓球部会
- ミニバスケットボール部会
- 水泳部会
- バドミントン部会
- ◇会長推薦(褒状)
- 〈全国大会で3位以内・関東大会で1位の個人または団体〉
- 個人
- 卓球連盟
- ソフトテニス連盟
- ゴルフ連盟

- 岩間 幸雄
- 西 純次
- 小松崎勝成
- 飯屋 智貴
- 黒木江利子
- 飛田 みね
- 天野 暢子
- 黒澤 正子
- 鴨志田ミツ
- 井上 勇
- 吉原久美子
- 倉林 和啓
- 石井加代子
- 小川 和美
- 山崎 広美
- 阿部 幸司
- 宮下 晴水
- 稲野辺 廣
- 樋山 恵子
- 大内 貞之
- 大貫 正博
- 船田 浩一
- 眞谷 繁美
- 小関 康成
- 深山 達也
- 吉田由美子
- 樋口 優香
- 平野樹帆子
- 岩原 正健
- 中村 浩也
- 照沼 伶士
- 萩原 正健
- 桐原 愛奈
- 木村 円
- 今本 メグ・勝村 桃花
- 川崎有乃音・佐藤 優空
- レスリン橋本会 琉正・野崎 市花
- 助川 遼成
- 大内 誠
- 大内 誠
- 茨城工業高等専門学校卓球部
- 昭道館池内道場

編集後記

今回の編集が、平成最後で新元号の年に当たった事や、前回の茨城国体(第29回)から45年ぶりに開催されるなど、大きな節目の年に当たる事から、何か感慨深いものがあります。

例えば旧勝田市体協の年譜によると、昭和28年に発足していますが、現在のような体協の形を呈したのは、茨城国体の一年前の昭和48年頃であり前回の国体を契機に躍進してきたものと推察されます。そして那珂湊市との合併により「ひたちなか市体協」が現在に至ったと伺っております。

一方この編集の創刊号は平成22年「レッツスポーツひたちなか」から始まり、今回で19号となります。これからも歴史ある本協だよりにより、多くの会員の皆さんからの情報を頂き盛り上げてまいりたいと思っております。(小林記)

【広報委員】

- 高場 恵子・齋藤 純子・清水 敏治
- 助川 保彦・磯野 好久・増淵 誠
- 小林 徹二・益子 勝徳・早川 博
- 藤枝 宏之・清水 傳吾兵衛 順不同